

就職援護広報を実施

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 松田 桃子・陸佐）は、11月18日（火）から19日（水）、陸上自衛隊大和駐屯地及び航空自衛隊松島基地の支援を受けて就職援護広報を実施した。

本事業は援護協力企業及び即応予備自衛官の雇用協力企業を招き、企業における自衛官の有用性に対して更なる理解を促進し、国防基盤及び退職自衛官援護基盤等の拡充を図るものであり、今年度は3社5名の企業の皆様に参加していただいた。

陸上自衛隊大和駐屯地では、第6偵察隊による16式機動戦闘車などの装備品見学、軽装甲機動車の体験搭乗を、航空自衛隊松島基地では、第11飛行隊、第21飛行隊及び松島管制隊による装備品及び施設見学を実施した。特に第11飛行隊においては航空自衛隊の花形であるブルーインパルス機の機体見学を4番機パイロットの佐藤1空尉に直接説明を受ける貴重な機会を得た。参加者は様々な部隊で活躍する現職の自衛官に触れ、活発な質疑応答を交わし自衛官の有用性に対する理解を深めるとともに、装備品の迫力に驚き「説明が丁寧で分かりやすかった」「大変貴重な体験だった」「今まで知る機会がなかった知識を得ることができた」などと話していた。



陸上自衛隊大和駐屯地
(装備品の説明を受ける企業主等)



航空自衛隊松島基地
(佐藤1尉から機体説明を受ける企業主等)

創立125周年宇短附学校祭で広報展 ～青春に輝く世界へ～

自衛隊栃木地方協力本部宇都宮募集案内所（所長 本郷3海佐）は11月2日（日）宇都宮短期大学附属高等学校の学校祭に自衛隊ブースを出展し募集広報活動を実施した。学校祭の開場前から入場待ちの行列ができ、約5500人の来場者で賑わった。

この広報展は毎年行っており、募集ブースでは、1/2トラックの展示、制服試着、組みひも体験、装備品・階級章・糧食セット展示を行った。今年創立125周年である学校祭のテーマは「青春に輝く世界へ go show time（招待）」、個性豊かな活気ある生徒たちや来場者と自衛隊の楽しい交流の場が持てる絶好の機会であった。

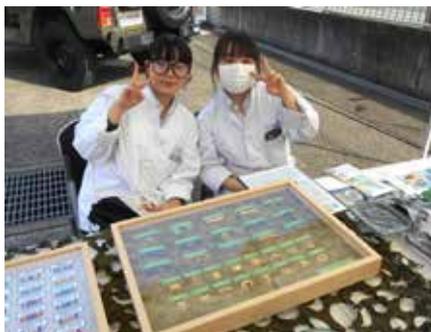
組み紐体験は、大盛況で早々と整理券がなくなり、先生や生徒をはじめ多くの人が推し色の組みひもを楽しそうに作成していた。制服試着では、1/2トラックの前で「敬礼！」のポーズをと嬉しそうに写真撮影をする生徒や「自衛隊車両カッコイイ！」と装備車両について広報官に質問する生徒がいたほか、階級章に興味を示すなど積極的な様子を感じられた。「自衛隊のイベントにまた参加したいです」「体験搭乗も是非してみたいです」との要望もあり、学校祭への参加を通じて多くの学生に自衛隊を知ってもらうことができた。また、今年度から自衛官の処遇・勤務環境などが大きく改善されたことなどについて、広報官が詳しく説明すると、特に保護者たちは熱心に聞き入っていた。



お似合いですね！



先生も一緒に組みひも体験



階級章好き女子



ポーズも決まっていた感じ（中央：栃木地本長）